



いさわ

岩手県立胆沢病院の 近況と地域連携



【基本理念】

愛をもって地域住民の命と健康を守る

【合い言葉(スローガン)】

- ・ 誇りを持てる職場
- ・ 人を育てる病院

両手を広げている人物を抽象的に表現

上部の「i」は、isawaの「i」を、また両腕は「いさわ」の「い」をイメージ

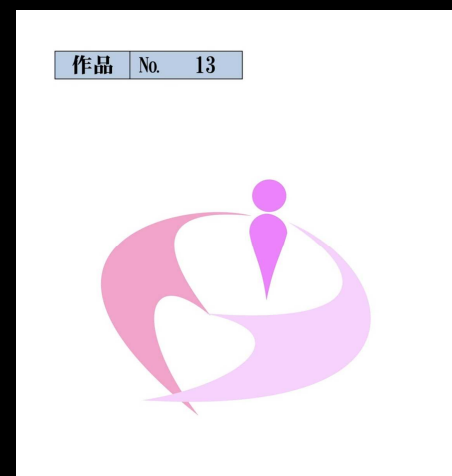
上から両手を差し出している様子は、大切なものを護り、抱えるイメージ

地域医療を担い、市域住民・患者さんを護ることを秘めている「医療人としての心」

両手の中は、胆沢病院理念に掲げている「愛」をモチーフにした「♥マーク」を表現

色は奥州市の花である「桜」をイメージし、優しさを醸し出している

最優秀作品



胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 2014年12月 地域医療支援病院認定：
 - － 外来予約制開始、内科の細分化
- 2015年9月から手術支援ロボット「ダビンチ」稼働開始
- 12月 病院のロゴマーク選定
- 2016年 自治体立優良病院総務大臣表彰受賞（2度目）
- 2017年4月 「総合診療科」の看板掲示
 - － 各専門科との兼任集団（外科、呼吸器内科、泌尿器科、リハビリ科、神経内科、循環器科など）
- 「腎臓外来」開始（岩手医大）
- 9月 「物忘れ外来」開始



胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 2018年2月 JCEP(初期臨床研修機能評価)受審
- 2018年5月 ヘリポート完成
 - 5月8日 ドクターヘリ第1号
- 10月 入院支援ブースの運用開始
- 2019年12月 病院の唄「岬めぐり」→「胆沢めぐり」替え歌コンクール
- 2020年2月 新型コロナウイルス騒ぎ勃発
 - 2月28日 院内新型コロナ対策本部開設、当院DMATが神奈川県庁へ出動



胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 2020年4月 心臓リハビリ開始
- 4月30日 コロナ対応BCP発動
- 11月 改装工事開始
 - 医局、化学療法室、救急診察室、外科診察室、外来化学療法室、CE室など
- 3月15日 職員のコロナワクチン接種開始
- 2021年4月 中央病院小児科から週末診療応援(月2回)
- 5月1日 4回目のドライブスルーPCR検査・・・〇〇荘クラスター



胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 5月14日 膠原病外来：岩手医大からの診療応援再開
- 8月2日 東北大小児科からの外来応援開始
- 8月17日 働き方改革に向けて、科長面談を開始
 - － 電子カルテリモート端末タブレット、病棟クラーク、音声入力、SNS(ラインワークス)など
 - － PHSをスマートフォンに変換
- 12月9日 コロナの隙間をぬって病院忘年会開催、2年ぶり



胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 2022年1月27日 保健所で輪番体制連絡会
 - 症例を選んで元々の輪番病院への翌日の転院を提案
- 4月 東北大小児科から週末診療応援開始
- 4月4日 常設コロナ外来開設
- 5月9日 modified輪番制度開始
 - 救急輪番制を利用した患者転院簡素化の取り組み
 - 6月30日現在 8件の実績
- 6月1日 小児科医二人体制
 - 県立中央病院から1ヶ月交代の応援
- 6月14日 院内死亡症例検討会開始



Modified輪番制度

【目的】

医療資源の胆江圏域において救急医療の維持のために水沢病院、江刺病院、奥州病院の輪番日に胆沢病院へ入院した患者のうち、早期に転院可能な患者をピックアップし、患者家族の同意のもとに連携している元々の輪番病院への早期転院を実現する

【対象患者】

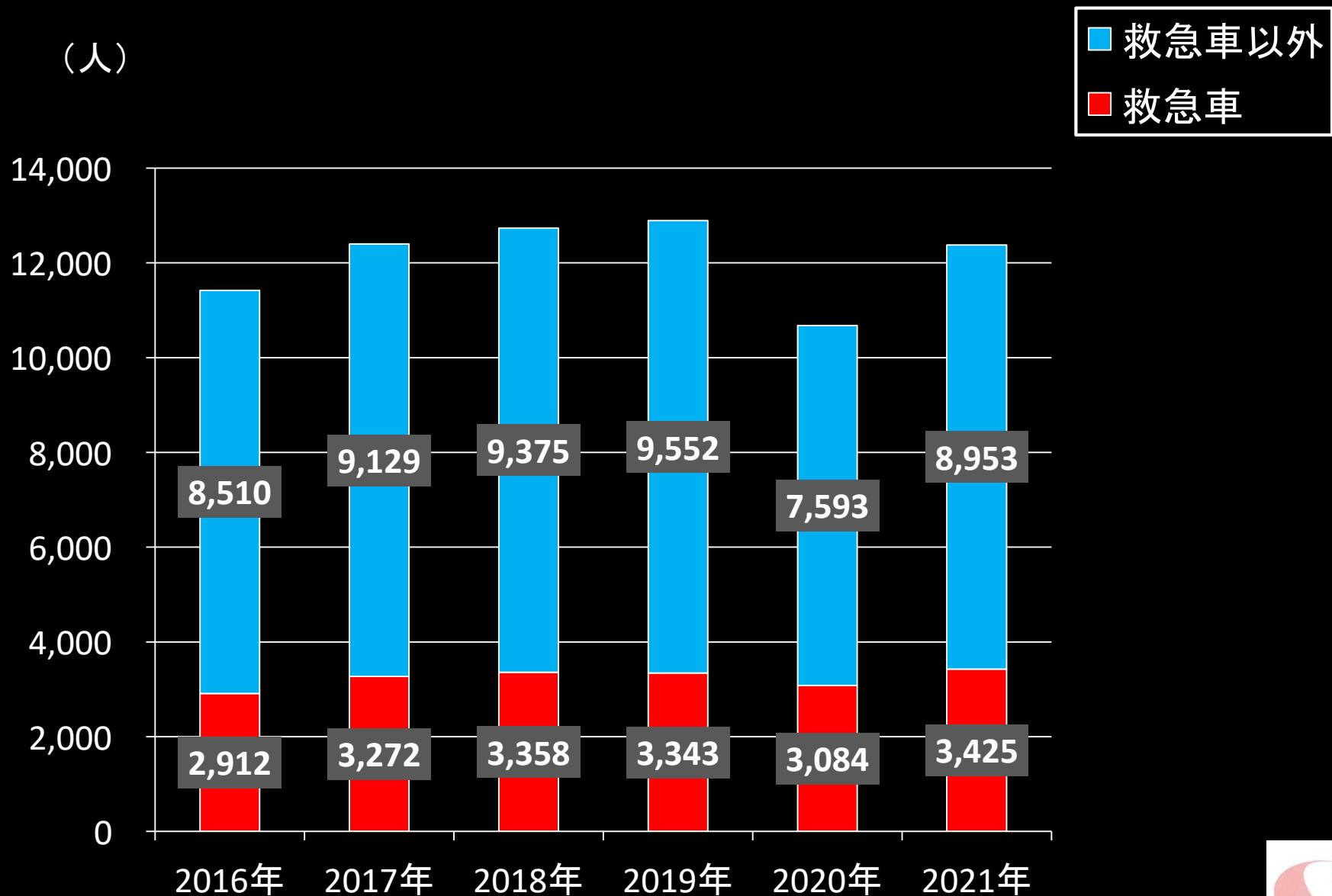
- ① 老衰に近い状態の患者
- ② (誤嚥性)肺炎で典型的な治療のみが必要な患者
- ③ 軽微な脳梗塞の患者
- ④ 社会復帰が困難と考えられる脳梗塞の患者

【対象患者の条件】

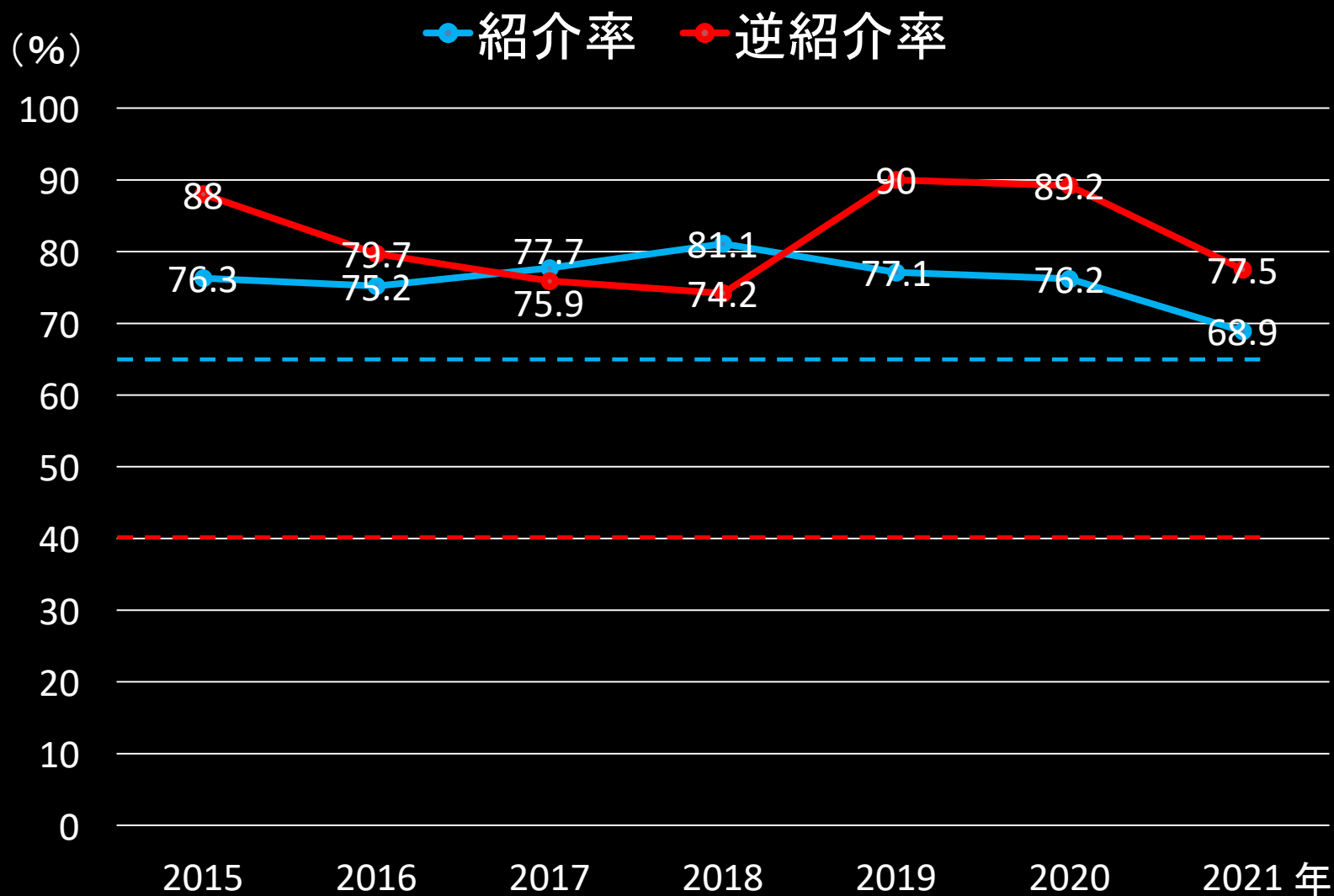
- ① 看取りを前提しているなど、方針がはっきり決まっていること
- ② 専門的治療がないこと(専門的治療はこれまで行っていない、あるいは終了している)
- ③ 患者家族の十分な同意が得られていること



救急患者の状況



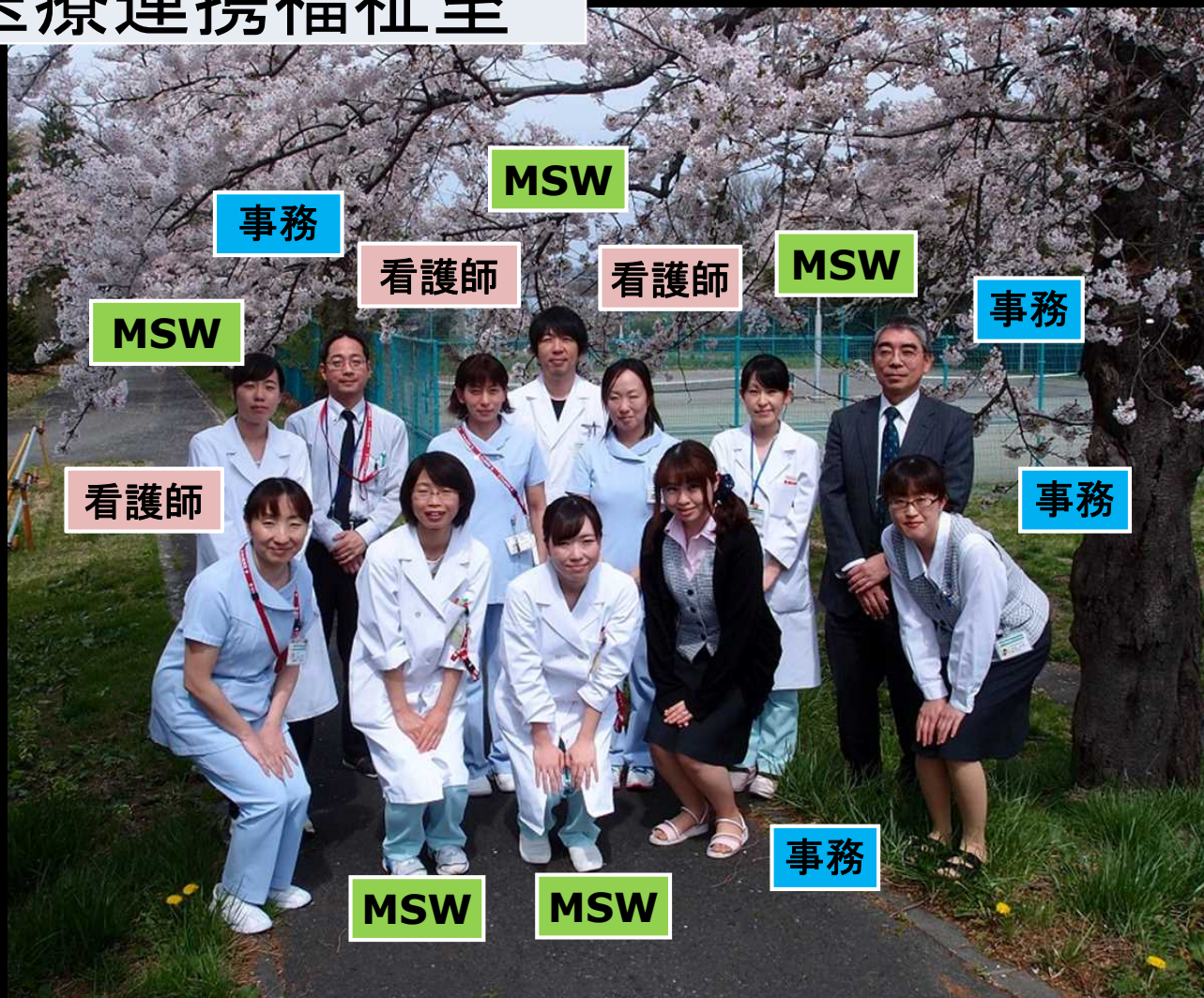
地域医療支援病院紹介率・逆紹介率



* 施設基準：紹介率**65%**以上、逆紹介率**40%**以上



地域医療連携福祉室



現在、	退院支援ナース	3名
	医療社会事業士	4名
	入院支援ナース	3名



かかりつけ医との症例検討会

平成27年4月から開始

かかりつけ医から紹介された患者の治療についてのカンファレンス

当院の担当医師がプレゼンテーションした後、意見交換

毎月最終木曜日

新型コロナの影響で未開催



住民向け『出前講座』

病院玄関ホールでの健康講演会



新型コロナの影響により開催
は1回のみ
R4.1.19「緊急応急処置」

R3.12.3「慢性腎臓病を知ろう」



【地域医療従事者の資質の向上を図るための研修会】 R3年度

- 1 奥州地区感染防止対策地域連携合同カンファランス 4回
・・・web開催 計154名の参加
- 2 岩手緩和ケアテレカンファランス
11回
・・・院外の参加者はZoomでの参加 計168名
- 3 褥瘡勉強会 0回
- 4 奥州地区医療連携研究会(地域連携パス) 3回
・・・web開催 計121名の参加
- 5 奥州地域吸入療法研究会 1回
・・・web開催 25名の参加



奥州市歯科医師会との連携

◆NST

Nutrition Support Team

入院患者に最良の栄養療法を提供するため、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、言語聴覚士など職種を越えて構成された医療チーム

- ・ ・ ・ 新型コロナの影響で歯科医の参加はR2. 10月より休止、R4. 1月再開するも2月より休止、R4. 4月再開。

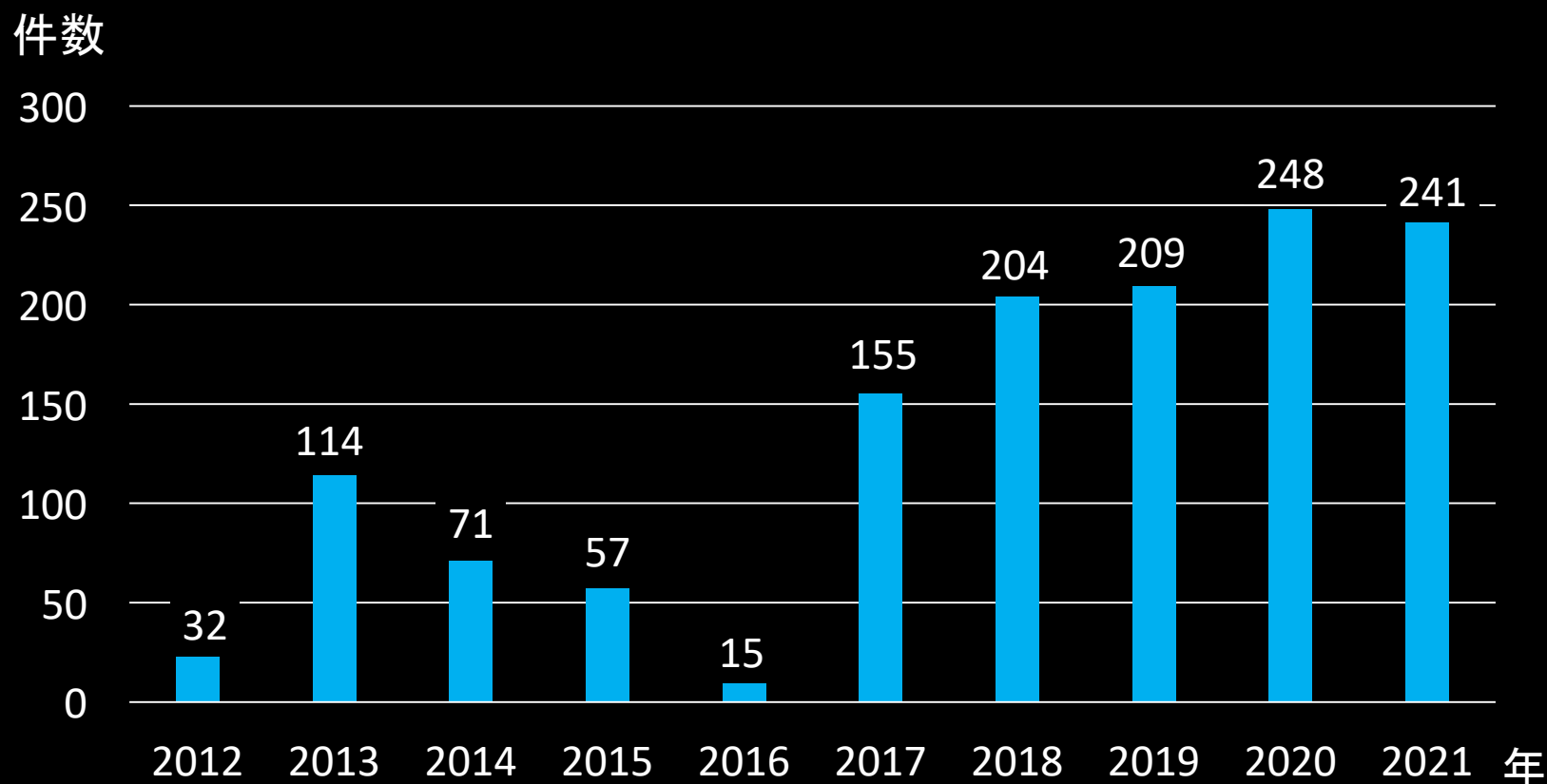
NST回診



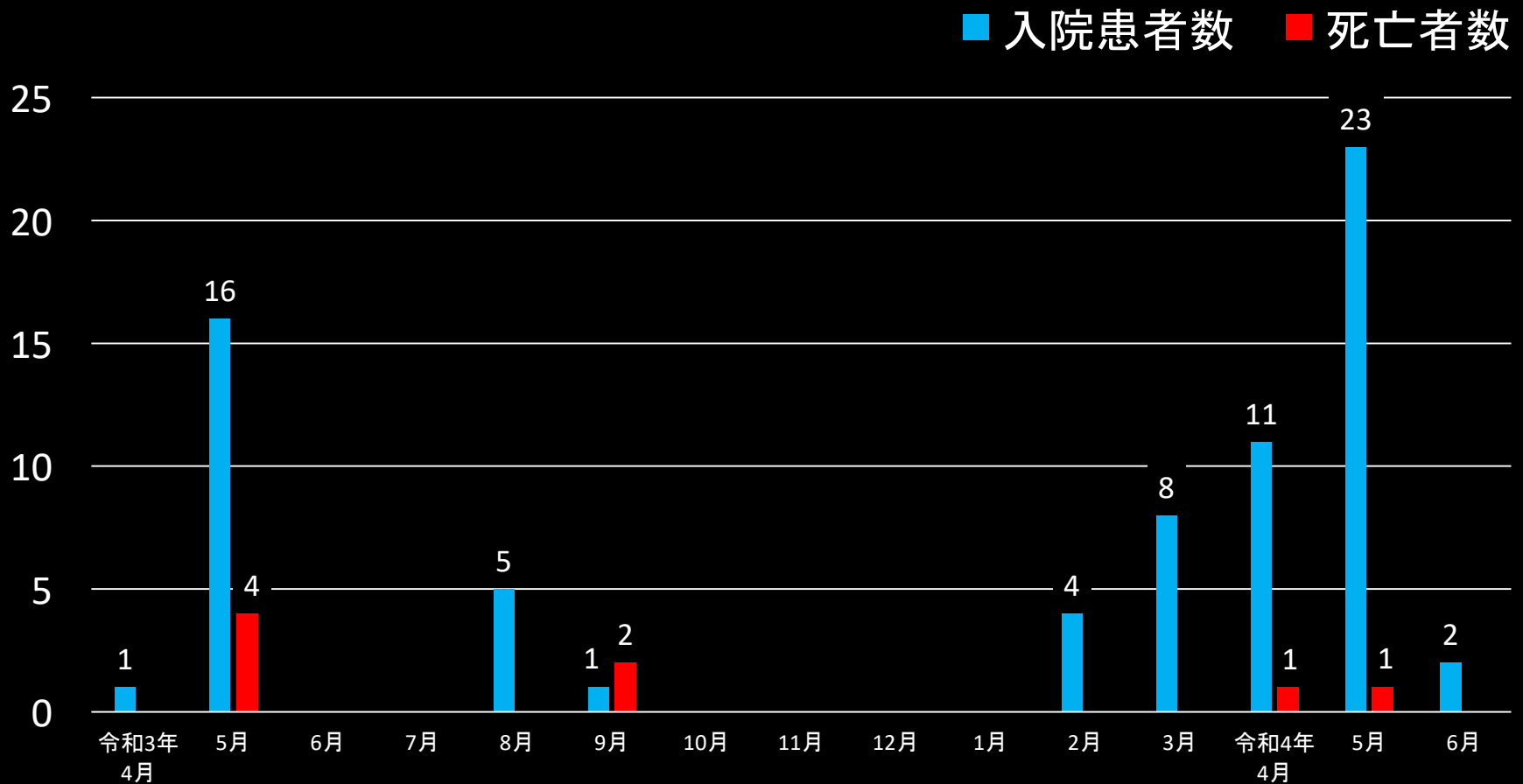
◆医科歯科連携

手術術前、抗癌剤治療前の歯科紹介／診察・治療

【口腔機能管理依頼件数】



当院の新型コロナウイルス患者入院状況



入院合計 74名

透析

人工呼吸器

エクモ

死亡 8名

3名

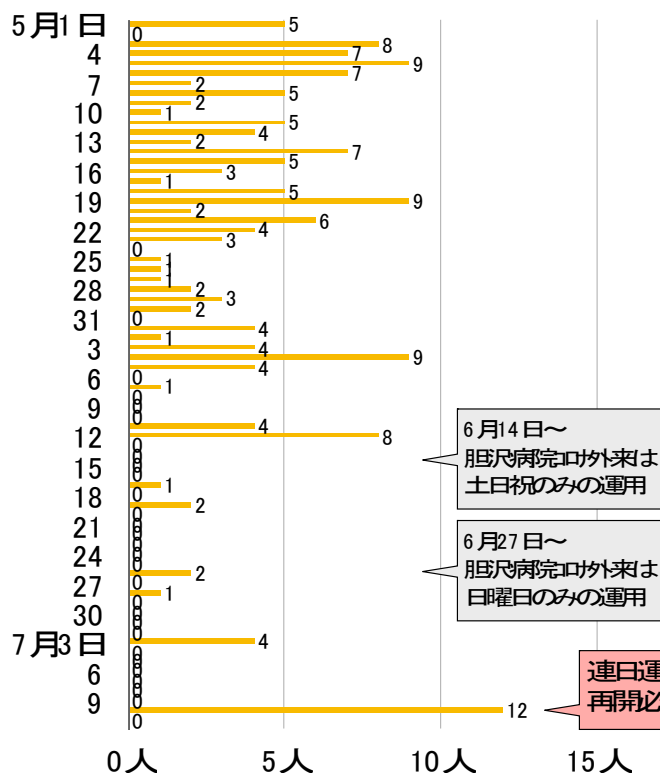
2名

0名

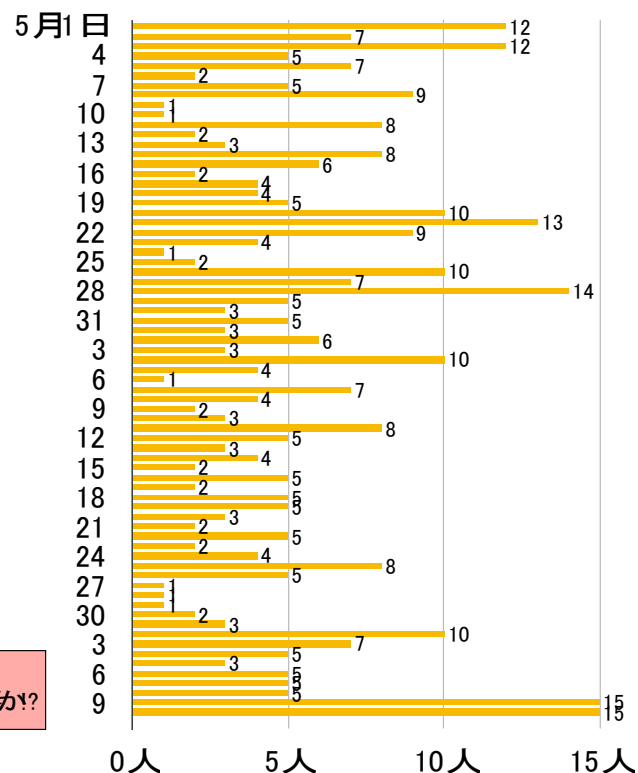


胆沢病院 コロナ外来 - s 救急外来 2 2022年5月1)

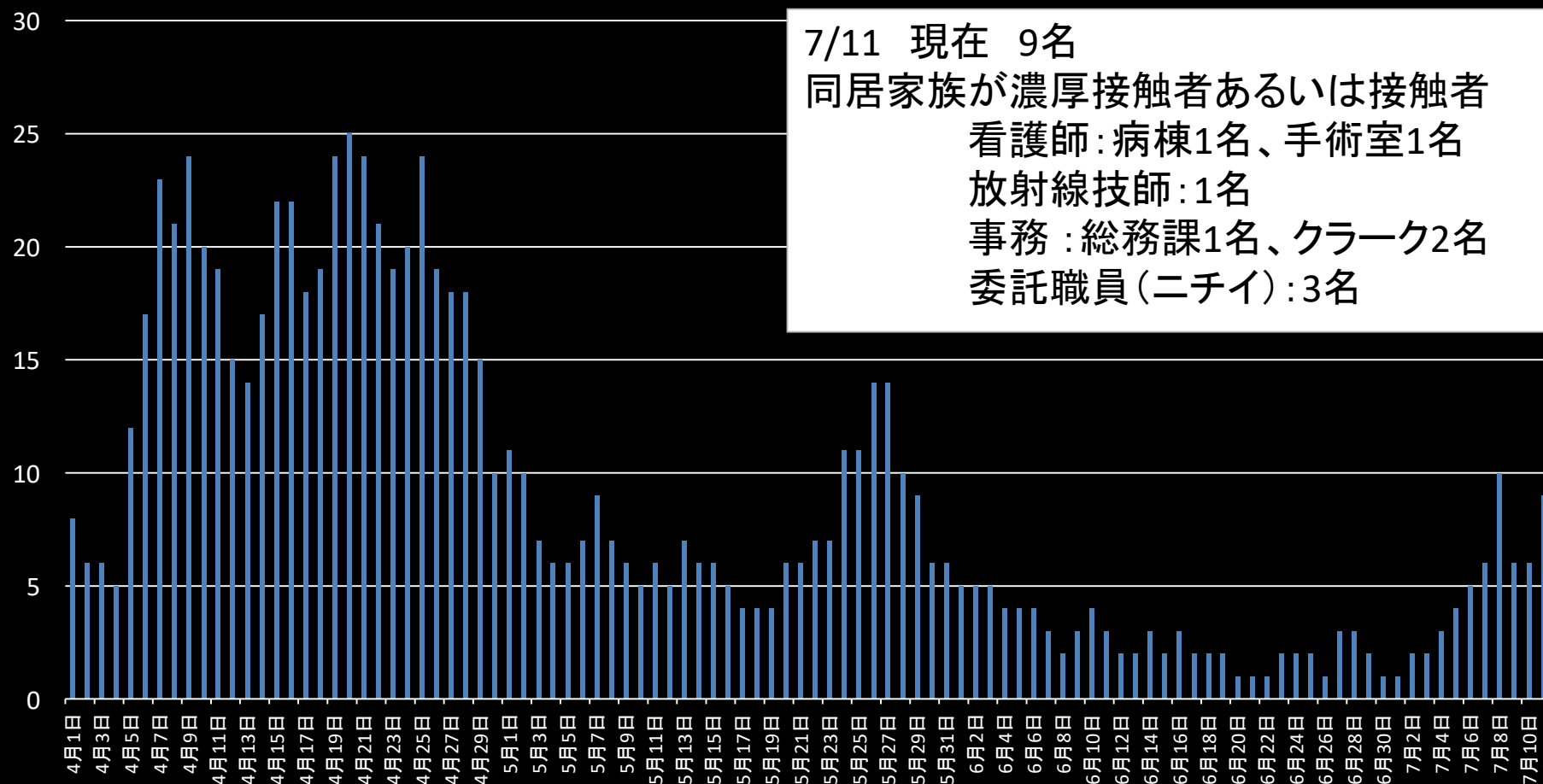
コロナ外来受診者数



救急外来(9 当直) コロナ 查件数



職員欠勤状況（4/1～7/11）



当医療圏の課題

小児/周産期医療

医療資源の選択と集中 集約化

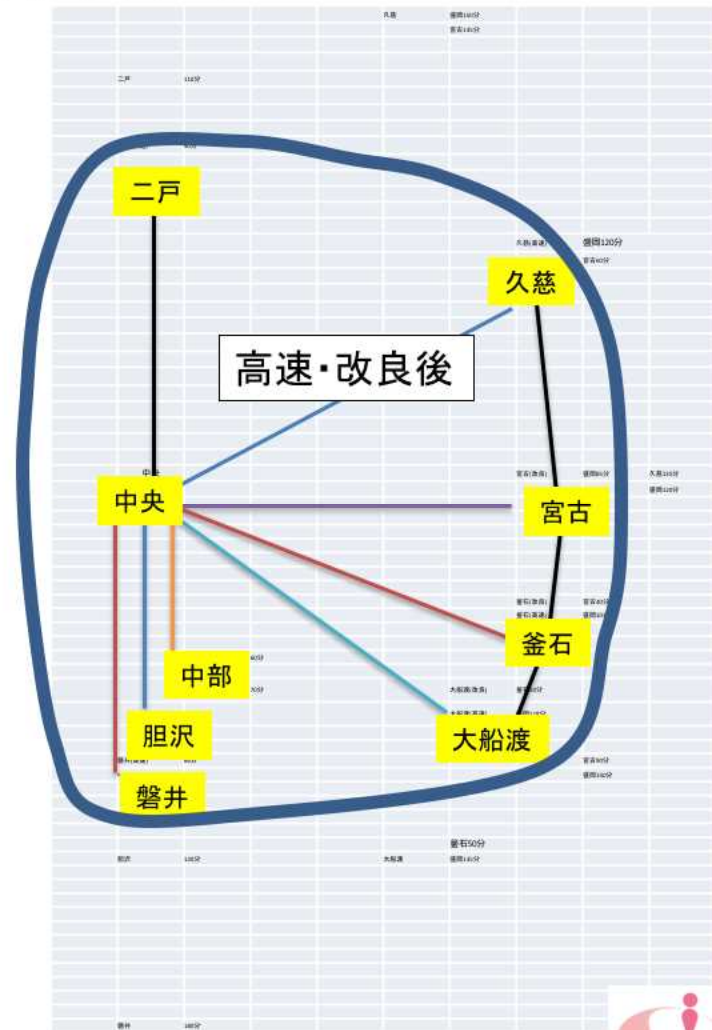
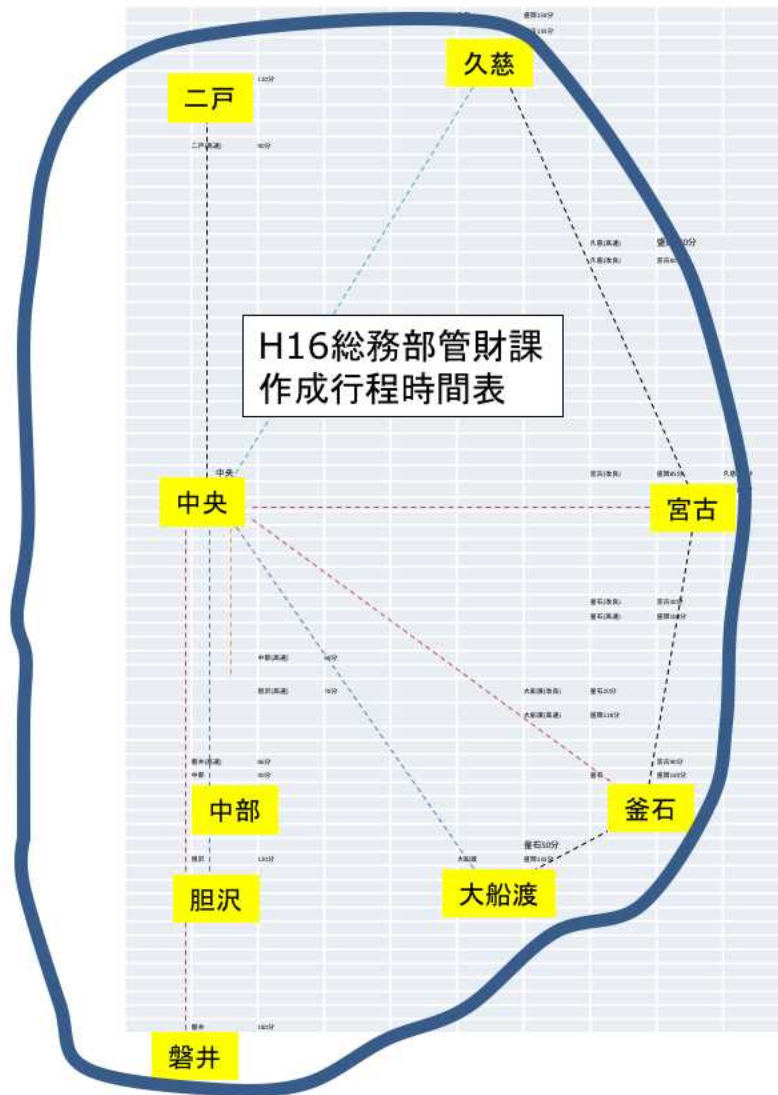
- 小児の救急、入院は一箇所に集約すべき
- 周産期に関しては二次医療圏の見直しが必要
- 「黄金の里病院」構想・・・急性期＋周産期に特化した病院を

当面は、

診療所（医師会）、病院（私立・市立・県立）、福祉、歯科、薬科、行政、介護、リハビリ、訪問看護などの役割分担と連携が非常に重要
・・・経営母体を超えて、全ての医療資源がひとつの病院のようになればいいと思う



岩手県の時間地図



* 3年5組 佐野淳作成



さらに言うなら・・・

地域医療基本法の実現

- 各医療圏毎の医師数の定数化
- 国が管理
 - ・・・民意と政治の力が必要



胆沢病院の文化、心（DNA）

患者を選ばない

救急は断らない

困っている人は何とかしてあげる

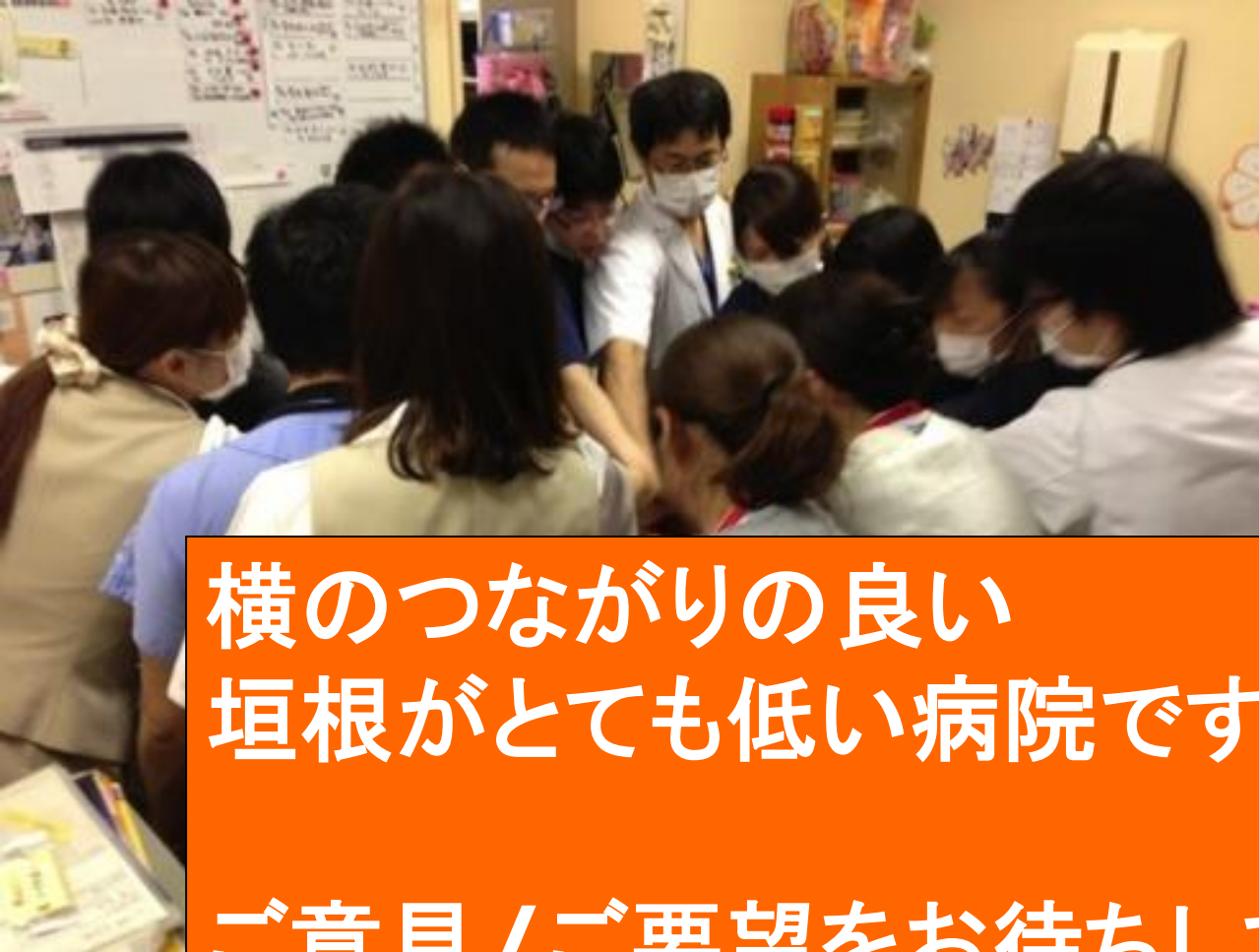
安心させてあげる

後輩を教える、育てる

挨拶、ありがとう etc

・・・*Hidden Curriculum*





横のつながりの良い
垣根がとても低い病院です

ご意見/ご要望をお待ちしております



おまけ

(医師国家試験合格祈願)

